



第33回インターユニ・ゼミナール（ドイツ語ドイツ文化ゼミナール）

33. interuniversitäres Juniorenseminar für deutsche und japanische Kultur

参加者募集のお知らせ

変化する大学 — Studium im Wandel

日時：2014年3月14日（金）～18日（火）

場所：国際医療福祉大学・那須セミナーハウス（栃木県那須塩原市金沢）

☆ 往復のチャーターバス（片道2500円）を東京都内（池袋駅）から用意します。

参加費：35,000円（4泊5日宿泊代、食事代、テキスト代、通信費、保険料を含む。往復バス利用のみ別料金です）

募集人数：80名程度（申込み順。ドイツ語を学ぶ学生・院生を対象としますが、ドイツ語学習歴があれば社会人も可）

申込み締め切り：2014年2月28日（金）（なお、それ以前でも応募者が定員を満たした段階でキャンセル待ちとなりますが、締め切り後でも空きがあれば受け付けますので、インターユニ実行委員会までお問い合わせ下さい。）

講師（予定）：足立 信彦（東京大）、相澤 啓一（筑波大）、Stefan Buchenberger（神奈川大）、浜崎 桂子（立教大）、Christoph Hendricks（ジャーナリスト）、Morten Hunke（愛知県立大学）、鎌倉 澄（学習院大）、大山 浩太（明治大）、Matthias Pfeifer（静岡県立大）、Marco Schulze（山形大）、高橋 優（福島大）、辻朋季（明治大）他

ゲスト：Holger Finken（ドイツ学術交流会） 他

参加申込みは次のサイトから（「インターユニ」で検索!）:

<http://www.interuni.jp/anmeldung>

主催：インターユニ・ゼミナール実行委員会

（代表：相澤 啓一、浜崎 桂子）

お問い合わせ：<http://www.interuni.jp/kontakt> ホームページ：<http://www.interuni.jp/>

共催：筑波大学（TEACH = 日独韓共同修士学位プログラム）

協力：Goethe-Institut Tokyo（ドイツ文化センター）、Deutscher Akademischer Austauschdienst（ドイツ学術交流会）



	Freitag, 14. 3.	Samstag, 15. 3.	Sonntag, 16. 3.	Montag, 17. 3.	Dienstag, 16. 3.
8.00		Frühstück 起床・朝食			
9.00	Abfahrt von Tokio 10時 東京出発	Gruppenunterricht グループ授業(2)	Studentischer Tag 学生主体のグループ	Gruppenunterricht グループ授業(4)	Gruppenpräsentation グループのプレゼン 発表、総括
12.00	Anreise 到着				
14.30		Mittagessen + Pause 昼食・休憩			Abreise 解散
17.30	Einführung 導入 Gruppeneinteilung グループ分け	Gruppenunterricht グループ授業(3)	Freier Nachmittag プレゼン制作	Gruppenunterricht グループ授業(5)	↓ Ankunft in Tokio 17時頃東京到着予定
19.00			Abendessen + Pause 夕食+休憩		
21.00	Gruppenunterricht グループ授業(1)	Abendprogramm 1	Abendprogramm 2	Schlussfeier パーティ	Änderungen vorbehalten
	Kneipe / Nachtruhe / 就寝 ?!				

インターユニ・ゼミナールは、せっかく習ったドイツ語をもっと学びたいと願い、またドイツ語圏の地域や日独文化交流に関心を持つ学生たちが、全国から、そしてドイツや韓国からも集まって議論する合宿ゼミです。いろいろな学生・教員がさまざまな大学から集まって（interuniversitär）、一つのテーマについて日独の文化を比較・対照しながら（interkulturell）、専門の枠を超えて（interdisziplinär）、国籍や文化、性差や世代や（例えば教師と学生といった）立場の違いを超えて互いに学びあう（Inter-Lernen）というゼミです。ゼミでは、できる範囲で、なるべくドイツ語を使って議論してみましょう。ドイツ語を習い始めたばかりの大学1・2年生にとっては、実際にドイツ語を口に出してコミュニケーションにトライしてみる絶好の機会です。もっとドイツ語ができる人は、テーマをめぐって自由に議論してください。ドイツ語能力別の少人数クラスが編成されますので、自分にぴったりの居場所が見つかります！ アクチュアルなテーマとドイツ語学習を欲張りに組み合わせるインターユニに参加して、全国各地の大学から来る新たな友人や日独の教員、さらにはドイツや韓国から来る学生たちと、ドイツ語漬けの充実した4日間を過ごしてみませんか？

今回のインターウニのテーマ： 変化する大学 — *Studium im Wandel*

ドイツ語で「大学で学ぶ」は *studieren*、名詞は *das Studium* です。対応する日本語の「学修」より分かりやすいですね。その *Studium* について、皆さんは大学に入る前から、いろいろな夢やイメージをお持ちだったことでしょうか。実際に大学に入って、期待通りの *Studium* を満喫しているところでしょうか？

大学とはそもそも何をし、何を何のために学ぶところなのでしょう？ 実はこれは、国によっても時代によっても大きく異なります。日本の大学の歴史を振り返ってみるだけでも、戦前の旧制大学はもっぱら一部の男子を国家のエリートに育てる機関でしたし、第二次世界大戦中の大学生は「学徒動員」と称して戦場に駆り出されました。戦後になって民主主義が根付くにつれて、みなさん自身の大学も多かれ少なかれ、あるときは日米安保反対やベトナム戦争反対といった政治的な熱気に満ちた時代を、またあるときは公然と「大学のレジャーランド化」が語られる時代を、経験してきているはず。こうして見ると、みなさん自身が日々体験している *Studium* もまた、当たり前のもので普遍的なものでもなく、今の時期の日本に特有の姿をしたものだと考える方がよさそうです。

ドイツで近代的な大学ができたのは、神聖ローマ帝国が滅んで危機意識が高まった頃のことでした。1810年にベルリン大学を創立したヴィルヘルム・フォン・フンボルトは、「教養」（つまり全人格的な人間形成＝*Bildung*）や、「学問の自由」の大切さを説いた言語学者・哲学者としても有名です。日本の大学も、そうしたドイツの大学をめぐる議論から大きな影響を受けてきました。教養教育が重視された時代もありました。でも今では多くの場合、「教養」よりもすぐに就活に役立つノウハウの方が期待されているようです。

数年前までのドイツの学生には、長い時間をかけて納得するまで学ぶ自立した「大人」のイメージがありました。しかしヨーロッパ統合の流れの中で、伝統的な高等教育のあり方は大きく変化しました。学士課程の標準履修期間は多くの場合3年にまで短縮し、大学生活はずいぶん忙しくなりました。これについての評価はドイツ国内でも大きく分かれていて、一部揺り戻しの動きも見られます。日本の大学制度も、おそらく皆さんが想像している以上に、激変しようとしています。どちらの国でも、「国際化」と「競争」が大学改革の重要なキーワードになっています。そうした改革をめざす日本やドイツの大学の議論は、みなさん自身の日々の学生生活とどう関係しているのでしょうか？

今回のインターウニでは、ドイツ語を学び、できるだけたくさんドイツ語で話しながら、みなさん自身の大学生活のあり方を国際関係や歴史を通して見つめ直してみる機会にしたいと思います。日本やドイツ、そしてお隣の韓国の様子なども参照しながら、*Studium* や大学について、できればドイツ語で、難しくなったら日本語もまじえて、楽しく議論をしていきましょう。

インターウニは、初級からのドイツ語を学び、また実際に使いながら、「全国各地からの新しい仲間たちと楽しく集中的にドイツ語を学ぶ」とことと「大学生らしく批判的知性を磨く」とことという2つの目標を常に追いつける欲張りな合宿セミナーです。楽しくドイツ語で話をしたり、グループでドイツ語のプレゼンを作ったりしながら、新しく知り合う仲間たちと真剣に語り合っ、ドイツ語漬けの5日間を過ごしましょう。ゼミナールにはドイツ語圏から来日中の学生や韓国からのゲストも参加します。講師たちも皆さんとの議論を楽しみにしています。 2013年12月

- ◎ 開催場所は交通の便が悪く、自家用車の利用は原則として禁止していますので、東京都内から研修所まで貸切バスを往復でチャーターします。3月14日の往路は午前10時に東京のJR池袋駅発、18日の帰路は夕刻に池袋駅着の予定です。途中、JR利用者のために、それぞれ東北本線・西那須野駅に立ち寄ります。バス料金は、東京から研修所までが片道2500円、西那須野駅からの利用は片道500円です。（18日の復路も同額です。）
- ◎ ホームページから申し込みをすると、登録アドレス宛に実行委員会から受付確認メールが送られますので、それに従って参加費とバス代の合計金額を、所定の口座に振り込んでください（詳細は受付確認メールにてお知らせします）。
- ◎ 授業は、ドイツ語の語学カ別に編成する10名程度の小グループで行います。グループ分け、そのほか詳細については、申し込み受付後、メールおよびWeb上にてお知らせします。
- ◎ 申し込み後のキャンセルや部分参加申請は3月10日まで受け付けます。その場合ほとんどキャンセル料はかかりませんが、それ以降は実費分を差し引いた返金額となります。（キャンセル手続きの詳細については、申込み手続き後にお伝えします。）
- ◎ そもそもインターウニとは何なのか？ また、以前のゼミナールの様子やテーマ等については、インターウニのホームページ <http://www.interuni.jp/> に詳しく掲載してありますので、ぜひご覧ください。
- ◎ セミナーハウスのある那須塩原市周辺は、比較的放射能値の高い場所となっています。実行委員会ではその点にも十分注意し、セミナーハウス内外の値を実地に計測しましたが、建物内部では平均して0.15~0.2μSv/h、最高値でも0.22μSv/hで、ドイツの住居内でもよくあるレベルなので問題ないと実行委員会では判断しています。しかしこの問題に対する感じ方・とらえ方は人によって大きく異なりますので、各自でご判断ください。セミナー期間中建物の外に出ることはありません。
- ◎ 質問や、Web上での申し込みが不可能な場合などは、実行委員会までお問い合わせください。 <http://www.interuni.jp/kontakt>
- ◎ どうしてもWeb利用ができない方は、郵便で以下の連絡先にご連絡ください。〒305-8571 つくば市天王台1-1-1 筑波大学 芸文言語専攻 相澤 啓一宛